

# 檀国大学校 日本研究所 人文韓国プラス(HK+) 事業団 国文学研究資料館

## 第23回 国際学術大会

### 自然と人、人と人の関係に対する人文学的省察

日時 | 2024年6月22日(土) 午前10時

会場 | 国文学研究資料館(東京都立川市緑町10-3)

基調講演  
(10:35~12:00)

「日本古典における自然と境界 - 中世の富士山 -」  
渡部 泰明(国文学研究資料館 館長)

「疑念の超越または享樂としての愛  
- 『金鰲新話』と『剪燈新話』との比較を中心に -」  
尹采根(檀国大学校日本研究所 所長)

Session  
1

文学と  
自然

(13:30~14:55)

〔自然と人の  
共生〕

「中世和歌に「自然」は詠まれているのか?  
- 一条 兼良『南都百首』の一首を手がかりに -」  
岡崎 真紀子(国文学研究資料館 教授)

「日本の自然主義文学の中の自然  
- 田山花袋の作品の中の自然の意味 -」  
李美京(檀国大学校日本研究所 HK研究教授)

災害と人  
(15:20~16:45)

「災害と政治  
- 18世紀の日本 -」  
渡辺 浩一(国文学研究資料館 教授)

「自然と災害そして道徳:  
文化・理念的認識と朝鮮時代の国家的対応」  
Anders Karlsson(SOASロンドン大学 教授)

Session  
2

越境と  
交流

(13:30~14:55)

〔人間関係と  
しての共生〕

「中世和歌における創造性・共同体・自己形成」  
Pier Carlo Tommasi(ハワイ大学 助教)

「日本の“とうげ[峠]”と韓国の“コゲ[峴]”における  
歴史・文化的普遍性と特殊性について」  
李建植(檀国大学校国語国文学科 教授)

集団と  
境界  
(15:20~16:45)

「寝殿造における境界  
- 女房装束の打出(うちいで)により演出される内と外 -」  
赤澤 真理(大妻女子大学 准教授)

「マカオコミュニティにおける多文化共生の様相と実践」  
魏慧萍(澳門科技大学 副教授)

主催

IJS HK+

지식 권력의 변천과 동아시아 인문학  
The Transition of Knowledge power and East Asian Humanities

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国文学研究資料館

後援

NRF  
한국연구재단

DKU 단국대학교  
DANKOOK UNIVERSITY